



としょかん ひまわり図書館だより

なつやす すてきな本に出会いましたか？

たの 楽しかった夏休みが終わり、2学期が始まりました。

からだ 体のリズムは戻ってきましたか？

うんどうかいれんしゅう 運動会練習でちょっと疲れた体を休めに、図書館で

ゆっくりすごしませんか。

としょかん たつじん 図書館の達人になろう！No.2

ぶんるい ほん よ いろいろな分類の本を読もう！

がつごう としょかん 5月号の図書館だよりで「分類」について書きました。今回は、分類を

図書館から借りた本の背表紙を見てみましょう。分類シールの番号が

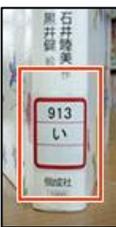
「913」や「E」と書かれていませんか？「913」は日本の物語の本。

れきし どうぶつ 歴史や動物の本、迷路の本などいろいろありますね。

れきし ほん ぶんるいばんごう 歴史の本は分類番号「2」。動物の本は「4」。迷路は「7」です。

図書館の壁に「日本十進分類法」の表があります。

その表を見ながら、いろいろな種類の本を読んでみましょう！



ひ がんがらちゃんの日

がつ にち きん 9月18日(金) ・ がつ にち きん 10月9日(金)

ほん かえ わす 本の返し忘れがないようにしましょう！



つき 月を見よう！

ことし ちゅうしゅう めいげつ 今年の中秋の名月は10月1日



つき ひょうめん 月の表面で黒く見える部分は「月の海」といい、比較的平らになっています。

おもしろいことに、この黒い模様は日本では、ウサギが餅をついているといわ

れています。ところが世界の国ぐにでは、それぞれ

ちがいによると考えられます。また、月が東からのぼるときや南の空高くにあるとき、



「月学～伝説から科学へ～」より

図書館前の掲示板に「月伝説」を紹介しています。なぜ、月にウサギがいると

と しょかん うんどうかい 図書館でも運動会開催中です！

もうすぐ運動会ですね。図書館では一足先に、本の貸出玉入れ競争をしています。本を借りると、自分の組にシールを貼れます。白組リード中です。今月



今年の本の貸出は4月10日から始まりました。夏休み中や2学期に入って、100冊借りている



図書館は本を読むだけじゃない！～本を読むことで、学び、新しい知識を身につけ、困ったことを解決できる力を育てる場所～

図書館は本を読むところだけではありません。知らないことを学ぶことができる道具がそろっているところです。その道具とは「本」。道具も使い方が分からないと使えないですね。今回は調べ学習の方法を紹介します。

その1 テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう！

1. 身のまわりをよく見よう

生き物・草花・食べ物など、生活の場には調べるテーマがたくさん。家族や友達との会話や、新聞・テレビ、教科書の中にもテーマが隠れているかも。

2. 「どうしてかな？」と疑問の形で考えてみよう

「雲の形はどうしてみんな違うのかな？」「ダンゴ虫はなぜ丸くなるの？」「なぜかな？」「どうしてだろう？」と考えてみよう。ふしぎな気持ちが大きくなっていきます。



3. 比べてみよう

自分が住んでいる土地ではこうだけれど、ほかの場所ではどうなっているかな？ 今と昔など、比べてちがいが気づくと、調べたくなってきました。

4. 仮説をたててみよう

答えを予想して仮説をたててみよう。テーマによっては、頭の中も整理されて、どこでどう調べればよいかかわってきます。

5. とりあえず、テーマを決めよう

おおまかなテーマしか思い浮かばないときは、少しだけそれを調べてみよう。自分が本当に興味を感じるテーマがきっと見つかると思います。

その2 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。

1. 図書館に行ってみよう

図書館は知識の宝庫です。書棚をながめて、テーマに関係した本やパンフレット、新聞記事をさがそう。

2. 司書さん(図書館の人)に聞いてみよう

本が見つからない時は、司書さん(図書館の人)に相談してみよう。関連した本の見つけ方、調べ方を教えてください。

3. 百科事典は強い味方

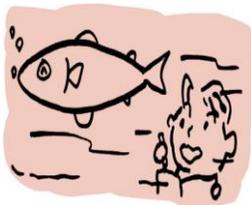
まずは百科事典にあたってみよう。関連した事柄がわかって、そこから調べることが広がっていきます。

4. 複数の資料にあたろう

本を読み比べてみよう。書いてあることが違うかもしれません。

5. 図書館での関連の講座に参加しよう

調べる学習のやり方は、学校の授業のほかに、図書館でも教えてくれることがあります。家の人や友達ちと行ってみよう。



その3 もっと調べるメモをとろう

まちや自然のなかにもでかけよう！
図書館では調べきれない発見があるよ。
考えたことをメモしておこう。

1. 実験しよう、観察しよう

植物や昆虫、動物などを調べるときは、観察や実験も良い方法です。どんな方法で行い、何がわかったか、結果も含めて記録しておこう。



2. 博物館・動物園・資料館に行こう

実物にふれたり、専門の資料などを見ると、ものの見方や考え方が広がります。そのときの自分の気持ちもメモしておく、まとめるときに役立つ！

3. 人の話も聞いてみよう

身近な人へのインタビューやアンケート調査も有効です。専門家などに手紙を出すと、疑問にこたえてもらえるかもしれません。もし、会えることになったら、あらかじめ質問をまとめておこう。

4. そして図書館へ

図書館の外で色々調べてわかったことを、もう一度図書館に戻ってたしかめてみよう。新たな発見があるかも。



その4 書いてまとめよう

友だちに自分が調べたことを教えてあげよう。
あげるつもりでまとめよう。

1. なぜ、そのことを調べたいと思ったのかな？

まず「どうしてこのテーマを選んだのか」、そのきっかけを書こう。「こういうことに疑問をもったからなんだ」と読んだ人に伝えるだけでなく、自分でも「このテーマを選んだ理由」をしっかりと意識できます。

2. なにをどうやって調べた？

どのように調べていったのか、そのみちすじを読む人に伝えるようにまとめよう。

3. 目次をつくらう

説明しやすいように、メモをならべかえて目次をつくらう。全体のストーリーを考えるのにまよったら、だれかに読んでもらって、わかりやすい組み立てを目指そう。

4. どこでなにを調べたか、参考文献を書こう

調べるときに使った図書館や本を書こう。このときにもメモが役立つ！

5. 調べてわかったことに対して、どう考えたか？

自分が思ったこと、考えたことを自分の言葉で書いてみよう。調べる前と、後で考え方が変わった点も書こう。

6. タイトルはとっても大事！

自分のテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけてみよう。